

広島大学

地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画

第 I 期(平成 21 年 10 月期)募集要項

2009 年 9 月

広島大学 若手研究人材養成センター

1. 本取組の概要

本取組みは、博士課程後期の学生及び若手博士研究員を対象とした新しい人材養成システムです。独自の専門に裏打ちされた幅広い知識と興味をもち、新分野に挑戦する活力ある人材を、広島大学若手研究人材養成センターにおいて、中国四国地方の企業や研究機関、学会等と密接に連携しながら養成します。

このプログラムでは、被養成者および連携する企業等からの視点で、カリキュラムの内容を検討・評価し、改善を行っていきます。従来の狭い研究室レベルにおける後継者養成とは異なる人材養成システムです。産官学が協奏して人材育成に取り組むことで、人材育成に対する大学や企業の意識改革を進め、国内外を問わず多様な場で活躍できる若手研究人材の養成システムを構築しようとするものであり、平成21年度科学技術振興調整費「イノベーション創出若手研究人材養成」プログラムとして採択されました。

被養成者は、「実践プログラム」(実務キャリア、英語コミュニケーション、MOT教育、融合領域研究、異分野研究支援、企業派遣の各プログラム)を受講します。修得単位や取組み実績は、アチーブメントカードシステムにより一元管理され、それに基づく指導・助言を受けます。自分の専門をしっかりとったうえで、幅広く自分の将来を考えている若手研究者(もちろん男女とも)の参画を期待しています。

2. 募集対象者

- ・本学の博士課程後期在学者
- ・博士学位取得後5年以内の研究者

3. 募集人員

- ・本学の博士課程後期在学者 5名程度
 - ・博士学位取得後5年以内の研究者 2名
- (2009年9月末までに取得見込みの者を含みます)

4. 応募要件

- ・自分の専門だけでなく、幅広い知識や基本的技術をもつことに積極的であること
- ・国内外の企業等において、3ヶ月以上(連続でなくともよい)のインターンシップ(研究や技術開発の実地経験)に従事すること
- ・博士課程後期在学者の場合は、博士論文を提出するために必要な研究のほかに、本養成計画に取り組む強い意志を有すること

5. 選抜方法

(1) 博士課程後期在学者

- ・口述試験 (これまでの研究内容、および、企業でのインターンシップで希望する研究内容について15分の口頭発表の後、質疑応答。英語によるコミュニケーションを含みます。)

(2) 博士学位取得研究者

- ・口述試験 (これまでの研究内容、および、異分野研究提案について30分の口頭発表の

後、質疑応答。英語のコミュニケーションによる含みます。)

6. 選抜試験の日程等

- ・日時: 2009年9月19日(土)
- ・試験室: 広島大学理学部(東広島キャンパス)

集合時間、試験開始時間等は、別途応募申請書記載の e-mail の宛先に送付します。

選抜試験の前日(9月18日)12:00までに送付されない場合は、7.(3)に問い合わせてください。

7. 応募方法

(1) 必要書類

- ・応募申請書(所定の様式) 1部
 - ・指導教員の推薦書(所定の様式) 1部
 - ・定形返信用封筒 1部
- (合否の通知に用いる。受験者の宛先を明記し、返信用切手を貼付すること)

(2) 応募申請書の締め切り日

平成21年9月15日(火)17:30 必着 (電子メール可。指導教員の推薦書が間に合わない場合は(3)に問い合わせること)

(3) 提出先

〒739-8512 東広島市鏡山一丁目2番2号
広島大学 若手研究人材養成センター (中央図書館B1F 担当:野田)
Tel: 082-424-6213
Fax: 082-424-6204
e-mail: wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp

8. 受験票の交付

若手研究人材養成センターに応募申請書を持参した者には、その場で受験票を交付します。それ以外の者には、受験票を応募申請書記載の e-mail の宛先に送付します。選抜試験の前日(9月18日)12:00までに送付されない場合は、7.(3)に問い合わせてください。

9. 選抜試験当日に持参するもの

- (1) 受験票
- (2) 写真入り身分証明書(学生証, 運転免許証等)

10. 合格発表

日時: 2009年9月24日(木) 12:00 (予定)
方法: 合格者の受験番号を、ホームページに公開します。

URL: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/>

また、口述試験の受験者全員に可否を通知します。

※やむを得ない事由により辞退する場合は、9月25日(金)17:30までに、7.(3)に電子メールにより連絡すること。

11. 選抜された場合の養成期間

平成21年10月1日～平成22年9月30日 の1年間

12. 選抜された場合の待遇

(1) 博士課程後期在学者

①給与

連携企業との共同研究実施期間(インターンシップ期間)非常勤職員(RA)として雇用し、広島大学非常勤職員の任免・給与及び労働時間・休日・休暇に関する規則に基づき月10万円程度を支給します。通勤手当、賞与、退職手当等、その他の手当等の支給はしません。

②社会保険等

非常勤職員(RA)として雇用されている期間、労災保険に加入します。健康保険、厚生年金保険及び雇用保険は適用しません。

③インターンシップ先企業への交通費等

支給対象となる派遣先企業については、本学の規程に基づき交通費または旅費を支給します。

(2) 博士学位取得研究者

①給与

養成期間の1年間研究員として雇用し、広島大学教育研究系契約職員の任免・給与及び労働時間・休日・休暇に関する規則に基づき月33万円を支給します。通勤手当、賞与、退職手当等、その他の手当等の支給はしません。

②社会保険等

文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入します。

③インターンシップ先企業への交通費等

支給対象となる派遣先企業については、本学の規程に基づき交通費または旅費を支給します。

13. 問い合わせ先

若手研究人材養成センター 副センター長 相田美砂子(副理事, 大学院理学研究科教授)

電話番号, 電子メールアドレスは, 7(3)の応募書類提出先と同じ

14. その他

- (1) 本取組みは、文部科学省科学技術振興調整費「イノベーション創出若手研究人材養成」の補助事業です。
- (2) インターンシップ先は、連携企業として本学と覚書等を締結した企業等です。

科学技術振興調整費イノベーション創出若手研究人材養成
「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」
第 I 期(平成 21 年 10 月期)養成対象者(博士課程後期学生)応募申請書

1. 履歴等

フリガナ 氏 名		生年 月 日	昭和 年 月 日生(男・女)	博士課程後期 年
現住所	〒 電話番号:() - e-mail: 学内連絡先電話番号:			
学歴	1.昭和・平成 年 月 _____ 大学 _____ 学部 _____ 学科卒 2.昭和・平成 年 月 _____ 大学大学院 _____ 学研究科博士課程前期 _____ 専攻入学 3.昭和・平成 年 月 _____ 大学大学院 _____ 学研究科博士課程後期 _____ 専攻進学 4.平成 年 月 博士学位取得見込み			
現在受給している助成の有無等	有・無	具体的な助成名(学振特別研究員, RA, TA など)		

2. 実践プログラム履修に対する抱負(次の 4 項目を中心に 2,000 字以内で記述)

- ①実務コアコース, イノベーション研究コースで身につけたい技術や知識について
- ②企業派遣プログラムにおける共同研究の取組方針
- ③希望する共同研究先(インターンシップ)または分野
- ④博士課程修了後のキャリアパスについて

3. 現在の研究内容(1,000 字程度)

4. 研究業績(学術雑誌等に発表した論文, 学会発表等)

5. これまでの, 企業等との共同研究やインターンシップの実績

※既に, 企業等との共同研究に従事している場合(予定を含む)は, 相手先およびその内容について記述してください。(秘密事項に注意)

※フォーマットは, 適宜変更可。複数ページになる場合は, 両面印刷して提出すること。

平成 年 月 日

推薦書

「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、本取り組みの被養成者(博士課程後期学生)の候補者として推薦します。

推薦順位: 位(名のうち)

なお、上記被推薦者が被養成者として選抜された場合、メンター教員として指導が、

()可能です。

()不可能です。(理由:)

所属部局・専攻
職・氏名
連絡先(電話・e-mail)

㊞

※記入上の注意

・推薦順位について

複数の博士課程後期学生を推薦した場合は、それぞれの推薦順位を必ず記入してください。同じ順位はつけないでください。

・本推薦書は密封して提出してください。

**科学技術振興調整費イノベーション創出若手研究人材養成
「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」
第 I 期(平成 21 年 10 月期)養成対象者(博士学位取得者)応募申請書**

1. 履歴等

フリガナ 氏 名		生年 月 日	昭和 年 月 日生 (男・女)
現住所	〒 電話番号：() — e-mail : 学内連絡先電話番号：		
学 歴	1.昭和・平成 年 月 _____大学 _____学部 _____学科卒 2.昭和・平成 年 月 _____大学大学院 _____学研究科博士課程前期 _____専攻入学 3.昭和・平成 年 月 _____大学大学院 _____学研究科博士後期課程 _____専攻進学 4.平成 年 月 博士学位取得 5.		
研究歴	1.平成 年 月 2.平成 年 月		
現 職	現在の雇用関係を簡単に記して下さい		

2. 実践プログラム履修に対する抱負(次の 4 項目を中心に 2,000 字以内で記述)

- ①実務コアコース、イノベーション研究コースで身につけたい技術や知識について
- ②企業派遣プログラムにおける共同研究の取組方針
- ③希望する共同研究先(インターンシップ)または分野
- ④博士課程修了後のキャリアパスについて

3. 現在の研究状況 (研究内容を中心に、1,000 字程度で記述)

4. 研究業績(学術雑誌等に発表した論文、学会発表等)

5. これまでの、企業等との共同研究やインターンシップの実績

※既に、企業等との共同研究に従事している場合(予定を含む)は、相手先およびその内容について記述してください。(秘密事項に注意)

※フォーマットは、適宜変更可。複数ページになる場合は、両面印刷して提出すること。

平成 年 月 日

推 薦 書

「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、本取り組みの被養成者(博士学位取得者)の候補者として推薦します。

推薦順位: 位(名のうち)

なお、上記被推薦者が被養成者として選抜された場合、メンター教員として指導が、

()可能です。

()不可能です。(理由:)

所属大学・部局・専攻
職・氏名
連絡先(電話・e-mail)

㊞

※記入上の注意

・推薦順位について

複数の博士学位取得者を推薦した場合は、それぞれの推薦順位を必ず記入してください。同じ順位はつけないでください。

・本推薦書は密封して提出してください。